

地域資源ブランド児童生徒向け現地学習会 【世界農業遺産 高千穂郷・椎葉山地域—高千穂郷編】



世界農業遺産
高千穂郷・椎葉山地域
GIAHP Takahikokuchō・Suibayashi

令和4年8月27日（土）に県内の小中学生を対象とした現地学習会を実施しました！
今回は日本の棚田百選に指定されている尾戸の口棚田（高千穂町岩戸）をフィールドに、
先人たちから代々受け継がれている棚田の保全意義や農林業複合システムについて学びました。



- 〈参加者数〉 11名
〈実施内容〉 ○尾戸の口棚田・山腹用水路見学、
民謡「刈干切唄」鑑賞
○「かっぽ鶏」体験
○神楽鑑賞

○尾戸の口棚田・山腹用水路見学、民謡「刈干切唄」鑑賞

棚田と水路の説明を聞き、刈干を背負った地元の方が
民謡「刈干切り唄」を披露してくださいました。
カヤを刈り取って、屋根にしいたり、田畑や家畜の肥料にし
たりなど活用法を学びました。子どもたちは、実際に刈干を背負
い、大きな鎌を見て驚いていました。



○「かっぽ鶏」体験 郷土料理

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、竹を切り、食材を詰める体験は
できませんでしたが、竹の様々な活用法を教わり、たくさん質問をしてくれ
ました。竹の中で蒸すことにより風味が変わることや神楽を舞う際にはうど
んを振る舞う食文化を体験しました。



○神楽鑑賞

高千穂町長にもお越しいたき、神楽の説明と代表的な4番「手力雄の
舞」、「鈿女の舞」、「戸取舞」「鈿女の舞」を鑑賞しました！
地元で神楽伝承のために活動をしている小学生との交流も行い、子どもたち
からは、「複数人で舞うと思っていたが、1人で舞っていたので驚いた」、
「自分がやっていた神楽と全然違っていた」という声が聞かれました。



ふりかえりの時間、子どもたちからは、
「色々な人が伝統を愛していることが分かった。」、
「伝統を受け継ぐ人が不足していることを、みんなに広めたい。」
との感想がありました。
世界農業遺産の素晴らしさを感じてもらおうとともに、中山間地域が抱え
る課題について考える良い機会になったと感じています。